

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a00771000000	調達件名	インドネシア国パティンバン港周辺におけるレバナ地域開発プロジェクト		
公示日(予定)		2024年1月24日	担当部課	社会基盤部都市・地域開発グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト
履行期間(予定)		2024年3月14日 ~ 2026年3月13日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】インドネシア共和国西ジャワ州レバナ地域(以下、「当地域」)の開発計画は2020年に州令によって施行、2021年に大統領令により指定され、国家戦略計画の一つに位置付けられているが、優先事業の順位立ては未だなされていない。当地域スバン県には円借款にて整備が進むパティンバン港が位置し、同港とのシナジーを考慮した計画的・戦略的な地域開発計画や優先開発事業の選定が必要である。また、当地域開発をリードする西ジャワ州レバナ地域管理局(R人月A)が2023年4月に設立され、その実施体制・能力強化や関係機関との協働メカニズムの確立が必要である。こうした状況を受け、インドネシア政府は、当地域開発計画のレビューとその実施のための体制・能力強化にかかる協力を日本政府に要請した。</p> <p>【目的】本事業は、レバナ地域における産業開発計画並びにインフラ開発計画の一体となった地域総合開発計画のレビューと優先事業の選定・推進、および同計画の実施に向けた体制構築を支援することにより、当該地域及びインドネシアの持続的な経済成長、開発に寄与するものである。</p> <p>【業務内容】上記事業の目的のため、本業務は主に以下を予定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 現行のレバナ地域開発計画・関係自治体の土地利用計画のレビュー、分析、現況把握と課題の整理 2) 優先事業選定にかかる情報収集・分析、民間ヒアリング、評価軸検討・提案 3) R人月Aおよび関係機関の権限・役割の確認、レバナ地域開発にかかる協議体の運営 4) 優先事業に関する既存計画や制度の確認、課題の特定、デボトルネッキング 5) 優先事業促進のための法制度提案、開発手段、スキームの助言 6) SEAの実施 			留 意 事 項	<p>【業務従事者の専門分野】 本プロジェクトでは、地域開発にかかる専門性を求める。</p> <p>【人月合計】約22.0人月</p> <p>【その他留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年12月RD締結済。 ・プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。 	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a00702000000	調達件名	バングラデシュ国チョットグラム上下水道公社経営改善プロジェクト		
公示日(予定)	2024年1月24日	担当部課	地球環境部水資源グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト	
履行期間(予定)	2024年4月4日 ~ 2028年5月15日		選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 バングラデシュ最大の商工業都市であるチョットグラム市は、国内最大の港であるチョットグラム港を有し、バングラデシュの貿易の主要都市である。チョットグラム市の水道は、チョットグラム上下水道公社(Chattogram Water Supply and Sewerage Authority: CWASA)によって運営されているが、長期的視点に立った施設整備計画や事業戦略が存在せず、給水施設を運転・維持管理するための職員の技術力は低く、水道料金が非常に安価であることなどから、自立かつ持続的な事業運営には課題が多い。また、現在チョットグラム市全体で下水道整備を進めており、今後数年の間に下水道事業を開始する計画である。下水道事業の円滑な立ち上がり持続的な運営には顧客の接続促進や確実な料金徴収を含むCWASAの経営能力向上が重要である。 上記の現状を踏まえ、バングラデシュ政府は「チョットグラム上下水道公社経営改善プロジェクト」を我が国に要請した。</p> <p>【目的】 本事業は、バングラデシュ国チョットグラム市において、CWASAの財務管理能力・計画策定能力強化、施設の運転維持管理能力向上、無収水削減能力強化、顧客コミュニケーション向上及び他水道公社との連携強化を行うことにより、CWASAの経営能力の向上を図り、もってチョットグラム市の上下水道サービスにおける経営状況の改善に寄与するものである。</p> <p>【活動内容】 成果1: CWASAの財務管理能力及び計画策定能力が強化される。 成果2: CWASA職員の浄水場の運転維持管理能力が向上する。 成果3: CWASA職員の効果的な無収水削減能力が強化される。 成果4: CWASAと顧客のコミュニケーションが促進される。 成果5: CWASAが活発にWASA連携を行う。</p>			留 意 事 項	<p>【業務従事者の専門分野】 本案件では水道事業体事業運営及び経営に係る専門性を求める。 【人月合計】77.5人月 【関連報告書公開情報】 「チョットグラム上下水道公社無収水削減推進プロジェクト」事業完了報告書 「チョットグラム上下水道公社無収水削減推進プロジェクト」終了時評価調査報告書 「チョットグラム上下水道公社組織改善・無収水削減推進プロジェクト」業務進捗報告書(その2) 事業事前評価表「カルナフリ上水道整備事業(フェーズ2)」</p> <p>案件概要表「都市衛生改善アドバイザー」 「バングラデシュ国チョットグラム下水道整備事業準備調査」ファイナルレポート(先行公開版)</p> <p>【その他留意事項】 プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。 契約履行期間を2期に分けて契約予定。 2024年1月中旬RD署名予定。 バングラデシュ国内における宿泊については、安全管理対策上の理由からJICAが宿泊先を指定することとしているため、宿泊料について、4号、5号については13500円/泊として計上してください。また、滞在日数が30日又は60日を超える場合の逡減は適用しません。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a00834000000	調達件名	ブルキナファソ国灌漑改修・維持管理強化計画協力準備調査 (QCBSーランプサム型)		
公示日 (予定)	2024年1月24日	担当部課	経済開発部農業・農村開発第二グループ	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】協力準備調査 (無償資金協力)	
履行期間 (予定)	2024年3月22日 ~ 2025年2月27日		選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 ブルキナファソの農業セクターは、GDPの20%を占め、就労人口の70%以上が従事する基幹産業である。当国では小規模な灌漑農業及び不安定な降雨に依存した天水農業が中心であり、深刻化する水不足や気候変動に対して非常に脆弱である。同国政府は食料危機や気候変動に対するレジリエンス強化のため、1970年代から灌漑区を整備してきたが、灌漑設備の老朽化や損傷が著しく、十分に機能していない。また、農業省は2つの機材整備場を持つが、うち1つの整備場は、機材が不足し、稼働していない。かかる状況を踏まえ、非稼働のワガドゥグ機材整備場の改修及び灌漑改修・維持管理機材の整備により、灌漑区の改修及び維持管理体制強化を図る無償資金協力事業が提案された。本件は右事業協力準備調査を行うものである。</p> <p>【目的】 本案件は、ブルキナファソ灌漑改修・維持管理強化計画を前提として、事業の背景、目的及び内容を把握し、技術・経済・体制的妥当性を検討のうえ、協力の成果を得るために必要かつ最適な事業内容・規模につき概略設計を行い、概略事業費を積算するとともに、事業の成果・目標を達成するために必要な相手国側分担事業の内容、実施計画、運営・維持管理等の留意事項などを提案する事を目的とする。</p>			留 意 事 項	<p>【業務内容】 (1) 第一回現地調査：概略設計、報告書案の作成等に必要な調査、協議、情報収集。 (2) 国内解析作業：概略設計の策定、概算事業費の積算、準備調査報告書(案)等の作成。 (3) 第二回現地調査：調査報告書案や先方負担事項等に関して、先方関係者に説明・協議。</p> <p>【人月合計】 約18.1人月</p> <p>【その他留意事項】 現地業務時期：2024年5月、2024年10月を想定。 本件業務については、現地業務のみ「紛争影響国・地域における報酬単価」及び「特別宿泊単価を適用する予定です。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a00734000000	調達件名	全世界エネルギートランジション分析に係る情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式)-ランプサム型)(再公示)		
公示日(予定)	2024年1月24日	担当部課	社会基盤部資源・エネルギーグループ	業務種別	業務実施契約-【調査業務】基礎情報収集・確認調査	
履行期間(予定)	2024年3月22日 ~ 2024年10月4日	選定方法	一般競争入札(総合評価落札方式)			
業 務 内 容	<p>【背景・目的】 2015年12月に開催された第21回国連気候変動枠組条約締約国会議(COP21)において、2020年以降の温室効果ガス排出削減等のための国際枠組みとしてパリ協定が採択されており、同協定では世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をすることが掲げられている。 JICAは、途上国政府が現実的かつ持続的な電源開発計画を含めたエネルギートランジションの計画を策定し、実行していくことが重要であることから、電力分野におけるエネルギートランジションのためのマスタープランの策定を重点的に支援している。 国毎の比較をおこなうためにはJICAのプロジェクトで利用する統一的な分析モデル及び技術データの設定が必要と考えられることから、既存の分析モデル及び技術データのそれぞれの特徴や利用状況等を確認の上、分析モデルおよびデータ設定の基本方針を提案することを目的に、「エネルギートランジション分析に係る基礎情報収集・確認調査」を行う。</p> <p>【業務内容】 (1) 現状整理及びインセプションレポートの作成 (2) 第1回有識者会合 (3) 既存の分析モデル及び技術データの確認・分析 (4) 第2回有識者会合 (5) 分析モデルの開発方針の策定 (6) 第3回有識者会合 (7) ファイナルレポートの作成</p>			留 意 事 項	<p>【人月合計(想定)】 5.00人月</p> <p>【その他留意事項】 プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a00765000000	調達件名	フィリピン国(カガヤン川流域)重要流域治水対策強化プロジェクト		
公示日(予定)	2024年1月31日	担当部課	地球環境部防災グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】開発計画調査型技術協力(技術協力プロジェクト)	
履行期間(予定)	2024年4月19日 ~ 2025年10月15日		選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【本事業の背景】 フィリピン国内の資本集積地域では、経済発展とともに変化する社会経済や気候変動の影響を考慮した治水計画マスタープラン(MP)への更新と同MPに基づく治水対策の実施が喫緊の課題となっている。公共事業道路省(Department of Public Works and Highways。以下「DPWH」という。)はパッシング・マリキナ川流域及びカガヤン川流域のMPを更新する必要性を認識している。首都マニラに位置するパッシング・マリキナ川流域では、2012年に世界銀行がマリキナダム建設を主要優先事業とするMPを策定したが、同ダム建設予定地には利水ダム建設が進み、同MPの実現が難しくなったため、代替案の検討が欠かせない。また、カガヤン川流域では、2002年にJICAが策定したMPで示した優先事業の進捗が一部に留まっていることに加え、マガットダム再生に係る議論も進行している。 また、MPに基づく治水対策の実施におけるDPWHと自治体を含む関係機関間の連携不足も課題である。用地取得、各種許認可、及び整備した施設の運用・維持管理など自治体等との調整が難航しており、ガバナンス能力向上も欠かせない。</p> <p>【本業務の目的】 本業務は、パッシング・マリキナ川流域及びカガヤン川流域のうち、カガヤン川流域における洪水リスク評価を踏まえた治水計画マスタープラン(MP)作成、優先事業のプレ・フィージビリティ調査を実施するもの。</p> <p>【活動内容】 ①対象流域における治水対策の課題抽出、気候変動影響を含む洪水リスク評価 ②治水計画マスタープラン(更新版)の作成 ③優先事業のプレ・フィージビリティ調査の実施 ④既存の流域全体の洪水対策委員会(Flood Mitigation Committee等)を活用した流域全体の協議の実施</p>			留 意 事 項	<p>【人月合計】 合計約40人月</p> <p>【その他留意事項】 ・2024年1月にRD署名予定。これにより今後の公示スケジュールが後ろ倒しになる可能性があります。 ・プレ公示の内容は、若干の変更の可能性があります。また、RDの署名時期も変動する可能性があります。 ・若手育成加点の適用予定。 ・なお、パッシング・マリキナ川流域については別途公示を行う。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a00812000000	調達件名	パキスタン国南パンジャブ地域小児保健医療施設拡充計画準備調査 (QCBSーランプサム型)		
公示日 (予定)	2024年1月31日	担当部課	人間開発部保健第二グループ	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】協力準備調査 (無償資金協力)	
履行期間 (予定)	2024年4月15日 ~ 2025年6月30日		選定方法	企画競争		
業務内容	<p>【背景】パキスタンの母子保健は世界でも最低水準の状況であることが関連指標で示されており、本事業対象地であるパンジャブ州南部でも母子保健の改善は喫緊の課題となっている。このため、同州ムルタン県に位置する三次レベルの新生児・小児専門病院であるムルタン小児病院を対象にハイリスク新生児・小児に対する診断・治療に必要な施設及び医療機材の整備を行うことにより、同病院における診断・治療体制の強化及び災害拠点病院としての機能向上を図り、小児保健医療サービス全体の質の向上に寄与することを目指す事業が検討されている。</p> <p>【目的】本調査は、我が国の無償資金協力として実施する必要性の確認及び適正規模の検討を目的として実施する。</p> <p>【活動内容】目的達成のために、協力の目的、概要、事業費、事業実施体制及びスケジュール、運営・維持管理体制、概略設計・積算、環境及び社会面の配慮等の調査を行う。</p> <p>(1) 第1回現地調査：パキスタン保健医療セクターの現状及び最新の関連開発計画の確認、概略設計や報告書案の作成に必要な調査、関係者との協議、関連情報の情報収集</p> <p>(2) 国内解析作業：概略設計の策定、概算事業費の積算、準備調査報告書(案)の作成</p> <p>(3) 第2回現地調査：調査報告書案や先方負担事項等について、先方関係者への説明及び協議</p>			留意事項	<p>【業務従事者の専門分野】 本案件では新生児・小児に係る三次レベル医療施設の建築・設計・機材計画に係る専門性を求める。</p> <p>【人月合計】 約15.07人月</p> <p>【その他留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「紛争影響国・地域における報酬単価」を適用予定。 ・JICAパキスタン事務所が指定するホテルのみ宿泊可能。 ・若手育成加点を適用予定。 ・プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。 	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a00844000000	調達件名	エチオピア国アディスアベバにおける国立感染症専門病院強化計画準備調査 (QCBS-ランプサム型)		
公示日(予定)	2024年1月31日	担当部課	人間開発部保健第一グループ	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】協力準備調査(無償資金協力)	
履行期間(予定)	2024年4月19日 ~ 2025年4月18日		選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 エチオピア連邦民主共和国では、感染症由来の疾患が死因全体の約36%を占め、依然として感染症の負荷は大きい。しかし、同国には感染症の適切な診断・治療、特に重篤な感染症患者の隔離、治療を行うための十分な施設・機材が整備されていないことから、感染症の治療に必要なサービスを適時に提供することができないといった課題がある。 かかる状況を踏まえ、本事業では、感染症専門の高次医療機関であるアディスアベバの国立セントピーターズ専門病院において、感染症診断・治療および研修のための施設・機材を整備することにより、質の高い医療及び研修を提供可能な体制強化を図り、もって同国の感染症対策の強化に寄与するものである。</p> <p>【目的】 本調査は、アディスアベバにおける国立感染症専門病院強化計画を前提として、事業の背景、目的及び内容を把握し、効果、技術的・経済的妥当性を検討のうえ、協力の成果を得るために必要かつ最適な事業内容・規模につき概略設計を行い、概略事業費を積算するとともに、事業の成果・目標を達成するために必要な相手国側分担事業の内容、実施計画、運営・維持管理等の留意事項などを提案する事を目的とする。</p> <p>【業務内容】 (1) 第一回現地調査：エチオピアの保健医療セクターの現状、対象病院の現状・課題の確認、概略設計や報告書案の作成に必要な調査、協議、情報収集。 (2) 国内解析作業：概略設計の策定、概算事業費の積算、準備調査報告書(案)等の作成。 (3) 第二回現地調査：調査報告書案や先方負担事項等に関して、先方関係者に説明・協議。</p>			留 意 事 項	<p>【人月合計】 16.80人月 【その他留意事項】 プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a00693000000	調達件名	ケニア国オルカリアV地熱発電開発事業実施促進支援専門家 (QCBS - ランプサム型)		
公示日 (予定)		2024年1月31日	担当部課	ケニア事務所	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力個別案件
履行期間 (予定)		2024年4月22日 ~ 2024年10月31日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】ケニア政府は円借款「オルカリアV地熱発電開発事業」の未使用残を活用した追加発電ユニット建設を日本政府に要請し、日本政府はこれを承認した。本案件は、円滑かつ迅速な追加ユニット建設の必要性に鑑み、本邦技術による効率性の高い発電設備を念頭に置いた追加発電ユニット建設の妥当性のレビュー・検討・助言、JICA環境社会配慮ガイドラインとの整合性確認等の支援を行うものである。</p> <p>【目的】「オルカリアV地熱発電開発事業」に付帯して、追加発電ユニット建設に係る実施機関による基本計画の技術的なレビュー、JICA環境社会配慮ガイドラインとの整合性確認、それらを踏まえたスコープの最適化の検討、提案を行う。</p> <p>【活動内容】以下の項目について調査を実施し、それらの結果を踏まえてオルカリアV地熱発電開発事業の追加発電ユニットの最適なスコープについて検討、提案し、報告書を作成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 先方政府基本計画の事業背景と事業実施妥当性の確認 2) オルカリア地熱地帯における地熱資源に関するレビュー 3) 先方政府基本計画に基づく追加発電ユニット建設の検討 (レビュー) 4) 環境社会配慮 (JICA環境社会配慮ガイドラインとの整合性確認、環境アセスメント報告書に関する調査) 5) 非自発的住民移転実施状況確認調査の実施 			留 意 事 項	<p>【人月合計】約11.47人月</p> <p>プレ公示の内容は今後変更の可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00826000000	調達件名	アフリカ地域南部アフリカパワープール促進のための広域連携強化プロジェクト		
	公示日(予定)	2024年1月31日	担当部課	社会基盤部資源・エネルギーグループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト
	履行期間(予定)	2024年4月11日 ~ 2027年4月16日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 南部アフリカ地域は、コンゴ民主共和国(コンゴ民)をはじめとした包蔵水力、南アフリカやナミビアにおける太陽光・風力等再エネポテンシャルが非常に大きい地域であるが、域内需要の大半を占める南アフリカの電源構成は8割超が石炭となっている。長期的にクリーンかつ安価な電力を域内に供給し、電力アクセスを向上していくために、コンゴ民・インガを中心とした大水力開発の推進と、域内での電力融通を促進していくことが不可欠といえる。</p> <p>南部アフリカパワープール(SAPP)域内では、2023年11月現在、加盟12か国のうちマラウイ、アンゴラ、タンザニアを除く9か国による広域系統運用が実施されている。SAPP事務局としては、今後全加盟国が接続され電力融通を促していくことを目指している。南部アフリカ域内電力融通促進のためにSAPPは重要な役割を担っているが、さらなる広域電力インフラ整備及び市場運営を進め、広域系統運用を実現するため、JICAに技術協力が要請された。</p> <p>【目的】 本事業は、南部アフリカ地域において、SAPP域内の長期的な供給および需要予測に基づき、優先的に開発されるべき広域電力インフラ特定、域内研修を通じた広域系統運用、市場運営の能力強化を行うことにより、発電所や国際連系線整備、広域系統運用や市場運営の一体的推進を図り、もってクリーンで安価な電力の安定的な利用促進に寄与するもの。</p> <p>【活動内容】 以下の3つの成果発現のための活動を実施する。 成果1: SAPP域内の長期的な供給および需要予測に基づき、優先的に開発すべき広域電力インフラが特定される。 成果2: 域内研修の実施を通じ、広域系統運用にかかる改善策が策定される。 成果3: 域内研修の実施を通じ、電力市場運営にかかる改善策が策定される。</p>			留 意 事 項	<p>【業務従事者の専門分野】 本案件では、パワープール運営にかかる専門性を求める。 【人月合計】約40人月 【関連報告書公開情報】 「アフリカ地域 南部アフリカパワープール情報収集・確認調査」ファイナルレポート(2017年6月) 【その他留意事項】 ・2024年1月中旬にR/D署名予定 ・プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00243000000	調達件名	ベトナム国変動性再生可能エネルギー大量導入に向けた電力系統運用能力向上プロジェクト		
	公示日(予定)	2024年2月7日	担当部課	社会基盤部資源・エネルギーグループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト
	履行期間(予定)	2024年4月26日 ~ 2027年3月1日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】ベトナム政府は、2020年2月に国家エネルギー開発戦略の方向性に関する決議を発行し、電力系統の増強及び再生可能エネルギー推進を含めた方向性を示し、再エネ比率を増加とするとともに、温室効果ガス排出削減に取り組んでいる。一方、大量の変動型再生可能エネルギー導入は、電力系統の不安定化が懸念される。</p> <p>信頼性の高い安定的な電力系統の運用を進めるため、給電指令部門は新たな課題を解決していく必要があり、ベトナム電力公社(EVN)、特に国家給電指令所(NLDC)の能力向上と、技術的インフラ整備が必要である。</p> <p>【目的】本事業は、上述のような給電指令や電力システム運用上に関する課題解決を支援することで、再エネ大量導入に堪えうる電力系統の柔軟性と信頼性を確保し、再エネ発電設備容量増加を目指すエネルギー国家政策の実現に寄与するものである。</p> <p>【成果内容】</p> <p>成果1: ベトナムの需要予測システムに、気象予測に基づいたVREの出力予測システムが組み込まれる。</p> <p>成果2: VREの大量導入に伴う需給変動量を吸収するための周波数調整力必要量が予測される。</p> <p>成果3: ベトナムの状況を踏まえた、VREの出力抑制の具体的な方法が提案される。</p> <p>成果4: ルーフトップソーラーの大量導入時のNLDC側の需要への影響が確認される。</p> <p>成果5: EVNの設備更新計画案に、本プロジェクトで検討した設備更新内容が反映される。</p>			留 意 事 項	<p>【人月合計】 約58.00人月</p> <p>【その他留意事項】 1月下旬にRD署名予定 プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00845000000	調達件名	モンゴル国実践的教育機会を通じた工学系人材育成に係る情報収集・確認調査(QCBSランプサム型)		
	公示日(予定)	2024年2月7日	担当部課	東・中央アジア部東アジア課	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】基礎情報収集・確認調査
	履行期間(予定)	2024年4月15日 ~ 2027年3月15日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 モンゴル政府は単一産業依存型経済から脱却するため、2022年1月、ポストコロナの経済回復に係る優先課題である「新再生政策」(2021年12月)を発表し、6つの優先課題の中で、産業の再生として、製造業の高付加価値化と主力産業の創出、またそれらを担う高度技術者の育成を掲げている。教育科学省の調査(2022)では、今後10年間で技術者が3.9万人必要と試算され、即戦力となる人材育成の環境整備が求められている。</p> <p>【目的】 モンゴルの産業振興を牽引する工学系高度人材育成のために、必要な基礎情報を収集・整理し支援アプローチの検証をする。モンゴル国内の人材育成、人材のスキル開発状況、日本国内の人材ニーズについて情報収集を行い、パイロットプロジェクトを通じてモンゴル人工学系高度人材の日本企業への就労可能性、その後還流人材として自国の産業振興に資するモデルルートの確立等に関して支援アプローチの検討を行う。</p> <p>【業務内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 工学系高等教育機関(大学及び高等専門学校)の現状・課題 (2) 工学系高等教育機関(大学及び高等専門学校)におけるキャリア教育 (3) 在日モンゴル人の就労状況及びキャリア意識 (4) 日本で就労経験のあるモンゴル人の帰国後キャリア (5) モンゴルの工学系高度人材を雇用する日本企業のニーズ (6) パイロットプロジェクトによる本邦受入企業や自治体との連携可能性 (7) 協力アプローチの検討 			留 意 事 項	<p>【業務担当分野一覧】 本案件では工学系高度人材の就労環境、工学系高度人材の育成、キャリア教育、インターンシッププログラム運営、に係る専門性を求める。</p> <p>【人月合計】 約24人月 【その他留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレ公示の内容は変更の可能性があります。 ・本調査は契約予定時期の後ろ倒しや調査内容の変更、場合によっては公示取り消しの可能性があります。 ・若手育成加点を適用予定です。 ・パイロットプロジェクトでは20名程度の学生の本邦インターンシップを期間中に2回実施することを想定。 	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00904000000	調達件名	キリバス共和国港湾整備情報収集・確認調査 (QCBSーランプサム型)		
	公示日(予定)	2024年2月7日	担当部課	東南アジア・大洋州部東南アジア第六・大洋州課	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】基礎情報収集・確認調査
	履行期間(予定)	2024年4月26日 ~ 2025年1月31日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 外国貿易貨物を扱うキリバス国で最大の国際港であるベシオ港について、キリバス政府は国家開発計画において国の重要社会基盤として位置づけている。昨今のベシオ港について、港湾当局からは、コンテナヤードの不足等、同施設の拡張ニーズが指摘されている。また豪州の援助機関が港のマスタープラン調査を行う動きもあり、これら調査の進捗や結果を踏まえ、日本が無償資金協力で協力し得るコンポーネントの検討を行うことが求められている。</p> <p>【目的】 ベシオ港を対象とし、国家開発計画や他国・他島との連結性、物流、他ドナーの動向を考慮した、我が国の港湾インフラ分野のハード・ソフト面の候補案件リストを作成及び優先支援候補案件に係る詳細な情報収集(プレFS相当)を実施する。</p> <p>【活動内容】 基礎情報、既存資料の収集・分析、国家開発計画・港湾関連計画の収集・分析、現在までの整備・拡張内容、将来需要の予測分析の考え方の整理、施設インフラ及び施設運営の課題分析、施設の劣化度及び維持管理の実施状況、他ドナーによる協力内容の情報収集・分析、候補案件の検討、優先順位のクライテリアの定義、候補案件の評価・優先順位付、優先候補案件の実施計画の策定、環境社会配慮面の必要事項の分析、本調査に係る報告会議の実施</p>			留 意 事 項	<p>【人月合計】 約10人月</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00887000000	調達件名	グアテマラ国西部5県における衛生的な水供給のための井戸掘削機材整備計画協力準備調査(QCBS-ランプサム型)		
	公示日(予定)	2024年2月7日	担当部課	地球環境部水資源グループ	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】協力準備調査(無償資金協力)
	履行期間(予定)	2024年3月29日 ~ 2025年4月30日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 グアテマラ国内の経済格差は非常に大きく、非先住民の貧困率が46.6%であるのに対し先住民の貧困率は79.2%と高い。本案件の対象地域である西部5県は先住民が住民の9割を占め、先住民の貧困要因の一つとして栄養不良が挙げられる。栄養不良の背景には下痢症等の感染症の罹患があり、対象地域での5歳未満児の下痢症の割合は高く、安全な水にアクセスできない住民は手掘りの浅井戸や湧水等、不衛生な水源を利用している。国レベルで見てもグアテマラは安全な水へのアクセスが全国平均で56%に留まり、中南米・カリブ地域内でデータ収集可能な19か国中14位と低い。</p> <p>過去の無償資金協力では、地方振興庁地方水道計画実施部(INFOM-UNEPAR)へ井戸掘削機材2式を供与した。2022年までに計126本の井戸が掘削され、同無償資金協力で建設した給水施設も適切に維持管理がされている。しかし、現在の井戸掘削機材は老朽化し掘削能力が低下している。当初INFOM-UNEPARは年間15本程度掘削していたが、近年は年間1~2本程度しか掘削できず、各地からの井戸掘削要請に対応できていない。</p> <p>【目的】 本案件は、グアテマラ西部5県における衛生的な水供給のために井戸掘削機材を調達することを前提として、事業の背景、目的及び内容を確認し、技術・経済・体制的妥当性を検討の上、協力の成果を得るために必要かつ最適な事業規模につき検討を行い、概略事業費の積算を行うとともに、事業の成果・目標を達成するために必要な相手国側負担事項の内容、実施計画、運営・維持管理等の留意事項等を提案することを目的とする。特に、栄養や保健等のマルチセクショナルな観点や貧困削減、先住民支援等の観点での開発効果の検討、本事業の意義付け等についての検討を含む。</p>			留 意 事 項	<p>【活動内容】 (1) 第1回現地調査：機材計画の検討や報告書案の作成に必要な調査、協議、情報収集。 (2) 国内解析作業：機材計画の検討、概算事業費の積算、準備調査報告書(案)の作成。 (3) 第2回現地調査：調査報告書案や先方負担事項等について、先方関係者に説明、協議。</p> <p>【人月合計】 16.91人月</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00137000000	調達件名	エジプト国カイロ地下鉄四号線第一期東西延伸事業準備調査【有償勘定技術支援】(QCBS-ランプサム型)		
	公示日(予定)	2024年2月7日	担当部課	中東・欧州部中東第一課	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】協力準備調査(有償資金協力)
	履行期間(予定)	2024年4月26日	～	2025年7月31日	選定方法	企画競争
業 務 内 容	【背景】 人口増加が著しいエジプトでは自動車台数も増加しており、これに伴う交通量増によって交通渋滞が慢性化している。エジプト政府は、都市圏郊外に衛星都市を建設することにより既存都市圏の人口分散を推進しており、1979年にカイロ中心部の南西に6th of October市を建設。また2016年よりカイロ東方に新行政首都の開発を開始した。これら都市圏の拡大により、大カイロ首都圏間の交通機関の大幅な拡充が必要とされている。そのため、実施中の対エジプト円借款「カイロ地下鉄四号線第一期整備計画」で整備中の区間を東西に延伸し、増加する交通需要への対応と深刻化する交通渋滞の緩和を図ることが求められている。 【目的】 本調査は、大カイロ首都圏及び新行政首都を対象に、本事業の目的、概要、事業費、事業実施体制、運営・維持管理体制、環境及び社会面の配慮等、我が国有償資金協力事業として実施するための審査に必要な調査を行うことを目的として実施するものである。	留 意 事 項	【人月合計】 約111.2人月 プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。			

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00903000000	調達件名	ケニア国循環型社会促進に向けた廃棄物管理能力強化プロジェクト		
	公示日(予定)	2024年2月7日	担当部課	地球環境部環境管理・気候変動対策グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト
	履行期間(予定)	2024年4月26日 ~ 2028年4月25日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 ケニア政府は廃棄物管理体制の整備、資源回収の促進を目的として、2022年7月にSustainable Waste Management Actを承認し、廃棄物管理を実施するアクターの責任を示し、Material Recovery Facility (MRF) の稼働による有価物回収の促進を目指している。さらに、拡大生産者責任制度の承認手続き中であり、製造者や消費者の役割を明確にし、資源回収を促進させる意向がある。これらの制度設計が進む一方で、ケニア政府の掲げる目標を現実するための具体的政策手法やガイドラインが整備されておらず、中央政府及び郡政府の政策実施体制を強化する必要がある。民間事業者やインフォーマルセクター等広範なステイクホルダーとの連携体制を構築しながら、ケニア都市部における資源回収及び適正な廃棄物管理を推進することが必要である。</p> <p>【目的】 本事業は、ケニア都市部において、新たな政策や法律で掲げる活動を実践するための実施体制強化及びパイロット事業を行うことにより、ケニア都市部における資源回収システムが構築され、もってケニアにおける資源循環が促進されるもの</p> <p>【活動内容】 本事業は、直営長期専門家2名との連携による活動を想定している。 成果1 ナイロビ市においてパイロット事業を通じて資源回収の適切な手法が構築される 成果2 モンバサ郡においてパイロット事業を通じて MRF の適切な活用手法が構築される 成果3 キアンブ郡においてパイロット事業を通じて最終処分場からの適切な資源回収手法が構築される 成果4 パイロットサイトでの環境上適正な廃棄物管理や資源回収の経験がケニアの都市間で共有される</p>			留 意 事 項	<p>【業務従事者の専門性】 本案件では、循環型社会形成に関する制度設計に係る専門性を求める。</p> <p>【人月合計】 約50人月</p> <p>【その他留意事項】 RD署名日：2023年10月26日 本契約は3期に分割して締結します。 プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a00906000000	調達件名	カメルーン国クリビ零細漁業コミュニティセンター拡充計画準備調査 (QCBS・ランプサム型)		
公示日(予定)	2024年2月7日	担当部課	経済開発部農業・農村開発第一グループ	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】協力準備調査(無償資金協力)	
履行期間(予定)	2024年4月26日 ~ 2025年6月30日		選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】カメルーンにおいて、農業セクターはGDPの17%、労働人口の60%を占める重要産業となっている。漁業生産量は2021年には30万トンに増加したが、年間約50万トンの国内需要に対応すべく、漁業生産量の更なる増加及び水産流通基盤の構築・強化を優先事項としている。2005年度無償資金協力「零細漁業センター整備計画」により整備されたクリビ零細漁業コミュニティセンターでは、年4%の水揚量の増加が続き、2023年には790トンに達したものの、国内需要を満たせておらず、更なる水揚量の増加が求められている。また、造船区画の不足により造船ができず、水揚量の増大の制約要因となっている。水揚げのピーク時は、地面など不衛生な場所で水産物の取引を行わざるを得ず、衛生面での十分な対応ができていない。本事業は、同センターにおいて施設・機材の拡充を行うことにより、衛生的な環境下での鮮魚取扱量の向上を図り、もって、水産物の生産量増加及び衛生状況改善を通じた食料安全保障の改善に寄与するものである。</p> <p>【目的】施設・機材等調達方式の無償資金協力の活用を前提として、事業を把握し、効果や人的・技術的・経済的妥当性を検討のうえ、協力の成果を得るために必要かつ最適な事業内容・規模につき概略設計を行い、概略事業費を積算する。また、事業の成果・目標の達成に必要な先方(相手国)側負担事項の内容、実施計画、運営・維持管理等の留意事項等を提案し、報告書等を作成する。</p> <p>【活動内容】(1) 第1回現地調査: 水産セクターの現状や最新の関連計画の確認、水揚げ量推移の予測、既存施設の機能改善評価、流通事情調査、施設前面の自然条件調査、概略設計や報告書の作成に必要な調査、協議、情報収集。(2) 国内解析作業: 概略設計の策定、概算事業費の積算、準備調査報告書(案)の作成。(3) 第2回現地調査(概略設計協議): 調査報告書案や先方負担事項について、先方関係者に説明し、協議。</p>			留 意 事 項	<p>本案件では施設・機材の整備に係る専門性に加え、施設経営、水産物流通、河川・港湾土木、環境社会配慮/ジェンダー配慮に係る専門性を求める。</p> <p>【人月合計】 約24人月</p> <p>【その他留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本調査は現地渡航を前提とした調査日程を想定していますが、新型コロナウイルス感染症による渡航制限が生じた場合は、調査日程の変更や遠隔での調査実施となる可能性があります。 ・第1回現地調査は2024年5月中旬から6月下旬、第2回現地調査は、2025年1月中旬頃の予定です。 	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00801000000	調達件名	ジブチ国ブルーエコノミー促進のための水産セクター能力強化プロジェクト		
	公示日(予定)	2024年2月7日	担当部課	経済開発部農業・農村開発第一グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト
	履行期間(予定)	2024年3月28日 ~ 2027年3月5日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】ジブチ国は350m以上の長い海岸線に加え、年間漁獲量は約2300トン(2020年、FAO)であり、豊富な漁業資源を有している。しかしながら、漁業資源開発が十分でないことに加え、気候変動の影響による海水温上昇や生態系(マングローブ等)の破壊など、海洋環境の急速な変化が生じている。こうした変化に適応する技術や経験、設備等を持ち合わせていない零細漁業者への影響は極めて大きい。かかる状況を踏まえ、ジブチ政府は水産ブルーエコノミー振興の概念に基づき、「国家農業投資と食料栄養安全保障プログラム(PNIA SAN 2016-2020)」の実施を通じ、同国の零細漁業者の能力強化と組織強化、持続的な零細漁業振興を目指すべく、2021年8月に我が国政府に対して、農業・水・水産・牧畜・海洋資源省漁業局を実施機関とする技術協力事業の要請がなされた。</p> <p>【目的】本事業は、ジブチの海洋資源を持続的かつ効果的に活用するブルーエコノミー戦略に沿った形で水産セクターを開発促進するために、①水産セクターの現況と課題の分析と優先課題を明確化し、それに応じてプロジェクトが定めた対象地域において、②漁業局及び漁協組合等の支援能力を高めて、③優先課題の解決のためのパイロットプロジェクトを通じた漁業者・水産関係者の能力向上を図り、④これら現場から得た知見をもとにブルーエコノミー戦略の実効性のある漁業振興活動計画をつくり、それらをもってブルーエコノミー戦略に沿った零細漁業者と漁業局との協力体制の基盤を強化することで、同国の水産ブルーエコノミー開発の推進に寄与するもの。</p>			留 意 事 項	<p>【業務内容】①水産セクターの現況と課題の分析(重要課題の解決策の抽出等)、②漁業局及び漁協組合等の能力強化(TOTや能力開発の制度構築等)、③漁業者・水産関係者の能力向上(パイロット事業実施や水産バリューチェーン開発、漁具・漁法の改善等)、④ブルーエコノミー国家戦略に沿った漁業振興活動計画の策定</p> <p>【人月合計】約28人月</p> <p>【その他留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年6月にRD署名済み。 ・プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。 ・公示予定日を1/17に変更しました(11/21)。 ・公示予定日を2/7に変更しました(1/10)。 	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00862000000	調達件名	ウズベキスタン国畜産バリューチェーン強化事業準備調査 (QCBSーランプサム型)		
	公示日(予定)	2024年2月7日	担当部課	東・中央アジア部中央アジア・コーカサス課	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】協力準備調査(有償資金協力)
	履行期間(予定)	2024年4月22日 ~ 2024年10月22日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 ウズベキスタンの畜産分野はGDPの約13%を占める主要な産業であり、小規模農家が家畜頭数及び畜産品出荷量の9割以上を担っている。畜産は小規模農家の収入の45~67%を占めるため、雇用創出・貧困削減のために重要だが、資金アクセスが不十分であり、設備投資や新たな畜産技術の導入などが困難であり、家畜一頭あたりの生産性が低い。さらに、国内市場や輸出市場での販売促進に課題を抱えているため、産業としてのポテンシャルを十分に発揮できていない。加えて、堅調な畜産加工品への需要増に対し、国内生産量が追い付かないため、同国は畜産品の純輸入国であり、畜産品の品目別自給率はさらに低下すると予測されている。係る状況下、周辺国の影響を受けずに畜産品の供給量を確保し、食料安全保障を高めることが喫緊の課題となっている。また、畜産分野は同国の温室効果ガス(GHG)排出量の13.1%を占めることから、GHG排出量の抑制を実現することも求められている。</p> <p>【目的】 本調査は、我が国の円借款事業としてウズベキスタンにおいて畜産に従事する農家等へのツーステップローン(TSL)及び技術支援を実施するため、審査に必要な情報収集を行うもの。</p> <p>【業務概要】 1. ウズベキスタンにおける畜産セクターの概況(政府の政策・施策、バリューチェーン、農家や畜産関連企業の現状等)、畜産関係者への融資サービスの概況(融資を提供している金融機関の現状やサービスの内容等)の把握、課題の分析 2. 事業計画(対象地域、TSLの融資対象範囲・条件・プロセス等、必要な技術支援、事業スケジュール、事業費、運用効果指標、環境社会配慮含む)の策定 3. 各種レポートの作成・協議</p>			留 意 事 項	<p>【人月合計】 約18人月</p> <p>【関連報告書公開情報】 「ウズベキスタン国 園芸作物バリューチェーン強化事業準備調査 ファイナルレポート」(2019年) 「ウズベキスタン投資ガイドブックの作成及び投資促進活動の能力強化に係る情報収集・確認調査 報告書」(2022年)</p> <p>【その他留意事項】 プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00926000000	調達件名	バングラデシュ国地方行政強化事業(フェーズ2)準備調査【有償勘定技術支援】(QCBS-ランプサム型)		
	公示日(予定)	2024年2月7日	担当部課	南アジア部南アジア第四課	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】協力準備調査(有償資金協力)
	履行期間(予定)	2024年4月26日 ~ 2024年12月27日		選定方法	企画競争	
業 務 内 容	<p>【背景・目的】 バングラデシュでは、都市部の貧困率14.7%に比べ、地方部の貧困率は20.5%と高く(当国統計局、2022年)、地方部の開発は当国政府の重要な課題。当国政府の「第8次5か年計画(2020・21~2024・25年)」では、地方自治体の強化と地方部の貧困削減が優先課題として掲げられ、貧困削減のためのインフラ整備の必要性が指摘。 「地方行政強化事業」(2015年度承諾。以下、フェーズ1事業)では、約500ある自治体に対して、行政実績評価等を通じた行政能力強化、ならびに、本行政実績評価の結果に応じた資金協力により、インフラ整備や研修等を実施。本準備調査では、フェーズ2の実施計画の策定にあたり、フェーズ1事業のレビュー、及び関連事業での取り組みに必要な情報の収集・分析を行う。</p> <p>【業務内容】 (1)業務計画書の作成・提出、(2)インセプション・レポートの説明・協議、(3)事業の背景・経緯・目的・内容等の整理、(4)他ドナーによる支援内容の確認及び連携策の検討、(5)世銀新規事業との重複回避・協力可能性検討、(6)フェーズ1事業のレビュー、及び本事業の詳細検討、(7)JICA支援事業の成果活用、展開、定着の検討、(8)広報素材の収集・作成、(9)環境社会配慮に係る調査等、(10)ジェンダー視点にたった調査・計画、(11)気候変動対策事業としての案件形成に係る情報収集・分析、(12)ICT技術の活用、(13)本邦技術の活用可能性の検討、(14)事業費の積算、(15)調達計画の策定、(16)事業実施体制の検討、(17)運営・維持管理体制の検討、(18)実施機関負担事項の整理、(19)免税措置の調査、(20)リスク管理シート(Risk Management Framework)の作成、(21)本事業実施にあたっての留意事項の整理、(22)コンサルティング・サービス、必要な技術協力の提案、(23)事業効果の検討、(24)報告書等の作成・説明、(25)調査データの提出、(26)開発事業提案書(Development Project Proposal : DPP)の申請支援</p>			留 意 事 項	<p>【人月合計】 約19.40人月程度</p> <p>【その他留意事項】 ・プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。 ・関連プロジェクト:技術協力・郡自治体機能強化プロジェクト(2017年~2022年)</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00859000000	調達件名	フィリピン国(パッシング・マリキナ川流域)重要流域治水対策強化プロジェクト		
	公示日(予定)	2024年2月14日	担当部課	地球環境部防災グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】開発計画調査型技術協力(技術協力プロジェクト)
	履行期間(予定)	2024年5月7日 ~ 2025年11月7日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【本事業の背景】 フィリピン国内の資本集積地域では、経済発展とともに変化する社会経済や気候変動の影響を考慮した治水計画マスタープラン(MP)への更新と同MPに基づく治水対策の実施が喫緊の課題となっている。公共事業道路省(Department of Public Works and Highways。以下「DPWH」という。)はパッシング・マリキナ川流域及びカガヤン川流域のMPを更新する必要性を認識している。首都マニラに位置するパッシング・マリキナ川流域では、2012年に世界銀行がマリキナダム建設を主要優先事業とするMPを策定したが、同ダム建設予定地には利水ダム建設が進み、同MPの実現が難しくなったため、代替案の検討が欠かせない。また、カガヤン川流域では、2002年にJICAが策定したMPで示した優先事業の進捗が一部に留まっていることに加え、マガットダム再生に係る議論も進行している。 また、MPに基づく治水対策の実施におけるDPWHと自治体を含む関係機関間の連携不足も課題である。用地取得、各種許認可、及び整備した施設の運用・維持管理など自治体等との調整が難航しており、ガバナンス能力向上も欠かせない。</p> <p>【本業務の目的】 本業務は、パッシング・マリキナ川流域及びカガヤン川流域のうち、パッシング・マリキナ川流域における洪水リスク評価を踏まえた治水計画マスタープラン(MP)作成、優先事業のプレ・フィージビリティ調査を実施するもの。</p> <p>【活動内容】 ①対象流域における治水対策の課題抽出、気候変動影響を含む洪水リスク評価 ②治水計画マスタープラン(更新版)の作成 ③優先事業のプレ・フィージビリティ調査の実施 ④既存の流域全体の洪水対策委員会(Flood Mitigation Committee等)を活用した流域全体の協議の実施</p>			留 意 事 項	<p>【人月合計】 合計約30人月</p> <p>【その他留意事項】 ・2024年1月にRD署名予定。これにより今後の公示スケジュールが後ろ倒しになる可能性があります。 ・プレ公示の内容は、若干の変更の可能性があります。また、RDの署名時期も変動する可能性があります。 ・若手育成加点の適用予定。 ・なお、カガヤン川流域については先行して別途公示。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00880000000	調達件名	フィリピン国公的保険改善を通じた自然災害に対する公共資産の強靱性向上プロジェクト 【有償勘定技術支援】		
	公示日(予定)	2024年2月14日	担当部課	東南アジア・大洋州部東南アジア第五課	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】円借款付帯プロジェクト
	履行期間(予定)	2024年5月7日	～	2027年8月31日	選定方法	企画競争
業 務 内 容	<p>【背景】 多くの自然災害に晒されるフィリピンでは、事前防災投資を通じた公共インフラ強靱化を進めているが、右対応に時間を要する中、災害時に公共資産が被害を受けるリスクを抱えており、復旧資金調達の為の制度や体制が十分に構築されていないことが課題となっている。 かかる状況に対し、政府は「国家災害リスクファイナンス・保険戦略」を策定、災害復旧資金調達手段の構築に取り組んでおり、その一つとして公共資産への公共保険付保を義務付けている。一方、同保険は加入率や補償内容が不十分等の課題を抱えており、保険引受機関である公務員保険機構(GSIS)への支援を通じた制度改善や体制強化が必要とされている。</p> <p>【目的】 本事業は、災害リスクの高いフィリピンにおいて、妥当な再調達価額評価や公平な保険料算出、保険引受・集積管理、被保険機関への意識啓蒙及び保険加入促進に係る体制・能力強化を通じて、GSISの自然災害に対する保険の付保対象である公共資産への包括的かつ十分な保険付保を図り、もってフィリピンにおける公共資産の自然災害に対する財政的強靱性向上に寄与するもの。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妥当な再調達価額の評価に係る体制・能力の強化。 ・ 公平な保険料率算出に係る体制・能力の強化。 ・ 保険引受及び集積管理に係る体制・能力等の強化。 ・ 被保険機関の保険に対する意識啓蒙及び保険加入促進に係る能力の強化。 				留 意 事 項	<p>【業務従事者の専門分野】 本案件では公共損害保険を含む災害リスクファイナンスにかかる専門性を求める。</p> <p>【人月合計】 約69人月</p> <p>【関連報告書公開情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マニラ首都圏における災害に対する公共インフラ強靱化のための損害保険活用に係る情報収集・確認調査 ファイナル・レポート ・ 災害リスクベース保険料の導入を始めとした公共保険制度改善のための情報収集・確認調査 ファイナル・レポート <p>【その他留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2023年11月にR/D署名済。 ・ 本案件は2段階方式で実施のため、詳細計画策定フェーズを含む。

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00896000000	調達件名	東ティモール国海洋プラスチック削減に向けたディリ廃棄物情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式-ランプサム型))		
	公示日(予定)	2024年2月14日	担当部課	東ティモール事務所	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】基礎情報収集・確認調査
	履行期間(予定)	2024年4月10日 ~ 2024年8月30日	選定方法	一般競争入札(総合評価落札方式)		
業 務 内 容	<p>【背景】 東ティモールの首都ディリ市について、2015年にADBが実施した調査によると推計ごみ発生量は190トン/日で、この内プラスチックが18%を占める。今後一層の人口集中により2040年にはごみ排出量は720トン/日に増加すると推定されている。 一般国民はプラスチックごみがもたらす環境インパクトの理解が乏しく安易な投棄が横行し、リサイクルされることも殆どない。降雨により河川や排水溝が増水し膨大な量のプラスチックごみが流れ出し、排水設備が詰まったり、海岸沿いを埋め尽くす事態も発生している。これまで、政府による対策やドナーによる小規模な支援が行われたが、一過的な効果しか上がっておらず、コロナ禍が終了したいま、状況の再確認と今後の対応策の検討が必要となっている。</p> <p>【目的】 本調査を通じ、首都ディリに於けるプラスチックを含む廃棄物の発生、管理、処理状況、政府の対策、ドナーによる支援活動等の基礎情報を総合的に把握・分析し、東ティモールの第9次政権が優先課題としている海洋ゴミ削減戦略の策定・実施の支援に向けた検討材料とする。</p> <p>【調査内容】 以下の情報収集・確認を行い、報告書に取りまとめるとともに、今後の対策オプションの検討材料とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係法令、政策、計画等 ・ ディリ市内の廃棄物管理(体制、機材、予算、ごみ量ごみ質調査、収集・中間処理) ・ 最終処分場(機材、人員、予算、管理体制、運営、等) ・ 関係ドナー、NGOによる支援 ・ 市民啓発、コミュニティー ・ プラスチック廃棄物の状況 			留 意 事 項	<p>【業務従事者の専門分野】 本調査では、廃棄物管理(プラスチック対策)に係る専門性を求めます。</p> <p>【人月合計】 6.0人月</p> <p>【その他留意事項】 ・ 関係ドナーが多数の報告書を出しており、これらを有効活用することで効率的調査を行うことを想定している。 ・ 調査期間はあくまで目安であり、期間が長くなる提案も受け付ける。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00895000000	調達件名	バングラデシュ国海上保安能力向上計画準備調査 (QCBSーランプサム型)		
	公示日 (予定)	2024年2月14日	担当部課	社会基盤部運輸交通グループ	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】協力準備調査 (無償資金協力)
	履行期間 (予定)	2024年5月7日 ~ 2025年4月30日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 バングラデシュ人民共和国 (以下、「当国」という。) のバングラデシュ沿岸警備隊 (以下、「BCG」という。) は、内務省傘下の文民政府機関であり、周辺海域における治安の維持、安全の確保等を目的として、域内で発生する海賊行為や不法取引の取締り、人命救助活動、環境汚染抑止等の業務を担っている。ダッカ、西部、南部、東部の各管区に拠点を置き、事件対応、救助・救援体制を構築しているが、高い堪航性を有する30~40m級の船艇の多くは標準的な耐用年数20年を超えて老朽化しており、現有船艇では気象・海象次第で進出できない沿岸等の海域が広く存在している。以上より、BCGに対し巡視艇の建造を実施することにより、当国の海上保安能力の向上を図り、もって当国海域の治安維持に寄与することを目指す。</p> <p>【目的】 施設・機材等調達方式の無償資金協力の活用を前提として、概略設計を行い、概略事業費を積算するとともに、相手国側分担事業の内容、実施計画、運営・維持管理等の留意事項などを提案することを目的とする。</p> <p>【活動内容】 (1) 事業背景・経緯等の確認 (2) 海上保安・船艇運用状況 (3) 事業実施体制の確認 (4) サイト状況調査 (5) 自然条件調査 (6) 運航・維持管理体制の確認 (7) ジェンダー主流化ニーズ調査 (8) 横断的事項調査 (9) 施工・調達事情調査 (10) 事業内容の計画策定 (概略設計) (11) 相手国側負担事項の整理 (12) 税金情報の収集整理 (13) 事業の維持管理計画策定 (14) 事業及び協力対象事業の概略事業費算出 (15) 協力対象事業実施に当たっての留意事項、事業リスクの検討 (16) 事業の評価 (17) 準備調査報告書 (案) の作成・説明等</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野一覧・評価対象者】 業務主任者、船舶建造計画、運航・維持管理計画 (評価対象者) 船体設計・艀装設計 (評価対象者) 機関設計・電気設計 機材計画・積算 自然条件調査</p> <p>【人月合計】 業務実施契約対象：10.28人月</p> <p>・プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。 ・本件業務については「厳格な情報管理」を要すると判断しているため、競争参加者の厳格な情報管理体制等」について、事前の競争参加資格確認を実施する予定です。 ・本調査は、契約予定時期の後ろ倒しや調査内容の変更、場合によっては公示取り消しの可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00918000000	調達件名	ヨルダン国観光セクターに係る情報収集・確認調査（一般競争入札（総合評価落札方式-ランブサム））		
	公示日（予定）	2024年2月14日	担当部課	中東・欧州部中東第二課	業務種別	業務実施契約－【調査業務】基礎情報収集・確認調査
	履行期間（予定）	2024年4月10日 ～ 2024年7月31日	選定方法	一般競争入札（総合評価落札方式）		
業 務 内 容	<p>【背景】 ヨルダンには多くの文化遺産及び固有の自然景観など多様な観光資源を有している。国家開発戦略である「ヨルダン2025：国家ビジョンと戦略」には、ヨルダンにおいて観光セクターは国内総雇用機会の18パーセントを生み出す能力があると評価されているが、周辺諸国の政情不安の影響とCOVID-19の影響もあり外国人観光客の数は伸びていない。更に、観光セクターへの投資が不十分なため、ヨルダンはその観光資源のポテンシャルを十分に活用できていない。2023年10月以降はガザ紛争の影響により観光客が著しく減少するといった課題に直面している中、海外からの観光客を増加させていくための施策を緊急的に講じていく必要がある。</p> <p>【目的】 本事業では上記の国家観光戦略（2021年～2025年）及び2022年に発表された「経済近代化ビジョン」にて提示されている戦略的目標の達成状況、直面している課題、さらに課題解決を図るために打ち出すべき施策に関して分析を行う。そのうえで、ヨルダンにおける観光セクター全般の課題を特定しJICAとしての協力方針を策定するため、基礎情報の収集及び確認を実施する。</p> <p>【調査概要】 （1）ヨルダン政府の観光セクターに関する政策・戦略等の既存情報に係る収集・整理 （2）「経済近代化ビジョン」、「国家観光戦略（2021年～2025年）」の達成状況の確認 （3）ガザ紛争がヨルダン観光セクターに与えている影響についての情報収集 （4）女性および難民や障がい者の観光セクターにおける雇用状況の確認</p>			留 意 事 項	<p>【業務従事者の専門分野】 観光セクターの政策立案・マーケティング、人材開発及び女性の雇用促進、評価の専門性を求める。</p> <p>【人月合計】 約7.5人月</p> <p>【留意事項】 特別宿泊単価を適応予定です。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00927000000	調達件名	セネガル国農業・農村開発ツーステップローン事業準備調査【有償勘定技術支援】(QCBSランプサム型)		
	公示日(予定)	2024年2月14日	担当部課	アフリカ部アフリカ第四課	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】協力準備調査(有償資金協力)
	履行期間(予定)	2024年5月7日 ~ 2025年2月28日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】セネガル共和国では、農業分野の就業者が全就業人口の3割を占める重要な産業であるものの、主要農産物は輸入に依存し、自給率向上が喫緊の課題である。農業・農村施設・食糧主権省は、農業生産性向上、農産物の高付加価値化に取り組んでいる。そのための機材・設備整備に資する農業金融の資金充実等の金融サービス強化も戦略に挙げている。農家グループ及び農業関連企業等生産者の資金需要も高まっており、生産者への貸付も近年増加している。一方、不確実な気象条件や農家のリスク対応能力の低さ等により、農業分野の金利は一般的な金利よりも高い水準にあり、積極的な設備投資が難しい状況に対して、低金利での資金需要の充足が課題である。</p> <p>農業・農村開発ツーステップローン事業は、旺盛な資金需要に対応するため、セネガルの金融機関への中長期資金供与を通じて生産者の農業資機材・施設への投資を促し、もって生産性向上及び生産物の品質向上を図るものである。</p> <p>【目的】本円借款事業はセネガル全土において、金融機関への中長期資金供給を通じた生産者へのツーステップローン供与に加えて、金融機関への能力向上支援及び生産者側の財務管理強化に係る研修を担う機関の能力向上を実施することにより、セネガルの農業・農村開発金融サービスの強化並びに生産者側の生産性及び生産物の品質向上を図り、もって食料安全保障及び農業セクターの商業化に寄与するもの。</p> <p>【主な活動内容】1)事業の背景と必要性・妥当性の確認、2)農業セクター概況調査、3)金融セクター概況調査、4)CP機関及び参加金融機関の情報収集、5)設備投資需要調査、6)他ドナーの活動状況調査・連携の検討、7)本円借款事業の案件形成に係る情報収集、8)ジェンダー視点／環境社会配慮／障害配慮にかかる調査、9)事業効果検討、10)気候変動対策面からの案件形成に係る情報収集、11)JICA及び関係者への報告、12)各種レポート作成・協議</p>				留 意 事 項	<p>【業務従事者の専門分野】 本案件では、農業農村開発(農業経済・農業金融)、金融機関財務分析、農業機械化、バリューチェーン開発に係る専門性を求める。</p> <p>【人月合計】 33.00人月</p> <p>【その他留意事項】 プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00839000000	調達件名	インドネシア国食料安全保障のための農業保険地方展開プロジェクト		
	公示日(予定)	2024年2月21日	担当部課	経済開発部農業・農村開発第一グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト
	履行期間(予定)	2024年4月22日 ~ 2027年2月26日	選定方法	企画競争		
業務内容	<p>【背景】 インドネシアでは、現中期国家開発計画に農業保険の導入が優先事項の一つとして明記されているが、保険制度と技術の改善、全国展開に向けた人材育成不足が課題となっている。本事業のフェーズ1にあたる事業では、農業保険に係る課題分析、人材育成、新しい保険スキームのパイロット事業を実施した。その後フェーズ1で明らかになった課題(保険制度と運用の更なる改善、全国展開に向けた人材育成の必要性)を踏まえた上で本事業を実施することとなった。</p> <p>【目的】 パイロットエリアにおける収量インデックス保険(Ayii)の実施、農業保険の社会化および普及に向けた研修体制の強化、実損補填型保険(AUTP)およびAyiiの技術的提言を行うことにより、農業保険事業の関係機関による農業保険の全国普及に必要な実施能力に関する能力強化を図り、もって農業保険(AUTPおよびAyii)がジャワ島を中心とした全土で普及する。</p> <p>【活動内容】上記目的を達成するため、本業務は主に以下を予定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. パイロットエリアにおいてAyiiの実施支援および改善を行う。 2. 農業保険の社会化および普及に向けた研修実施体制構築のための支援および既存教材の改訂を行う。 3. AUTPおよびAyiiの結果と教訓をとりまとめ、技術的提言を行う。 			留意事項	<p>【人月合計】 20人月</p> <p>【その他留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。 ・2024年1月中旬にRD署名予定。 	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00857000000	調達件名	ブータン国バイオバンクによる未来型医療の事業開拓にむけた情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式-ランプサム型))		
	公示日(予定)	2024年2月21日	担当部課	人間開発部保健第二グループ	業務種別	業務実施契約-【調査業務】基礎情報収集・確認調査
	履行期間(予定)	2024年4月17日 ~ 2024年12月27日	選定方法	一般競争入札(総合評価落札方式)		
業 務 内 容	<p>【背景】 増加する非感染性疾患(NCDs)や高齢化の進行に伴う疾患の治療・予防策の1つとしてバイオバンクの需要が全世界で増しており、途上国においては、ブータン王国でバイオバンク整備に係る構想が確認されている。同国では、無償で提供されてきた医療サービスの財政負担の増加が国家課題となっており、疾患前後の予防・回復期を中心に世界中で発展著しいデジタル技術・データ活用を促進する形での財政負担の抑制が望まれている。特に、医療サービスへの活用、研究機関での活用に加え、産業振興を含むバイオバンク整備とバイオバンクを通じたデータ利活用の方策を多岐に亘って検討することにより、長期的に保健財源の確保につなげることが求められている。</p> <p>【目的】 ブータン王国での整備における産業振興の可能性を含む考察(ビジネスモデルの具体化、ポテンシャルな連携先の特定等)を事例とし、途上国でのバイオバンク整備の活用可能性の情報収集とニーズ調査を趣旨とする。</p> <p>【活動内容】(調整中) (1) ブータンにおいてバイオバンクを整備した場合の本邦関係機関・企業の医薬品・医療機材・ヘルスケアサービス開発における活用可能性の情報収集 (2) ブータン関係者の招聘を通じた本邦関係機関との協業に関する具体的な情報収集(協業のPoC検討・実施等含む) (3) 上記(1)(2)での活用・協業を実現するためのブータンの状況に関する情報収集・GAP分析(バイオバンク整備に係る運営・人材育成等、ブータン国内におけるワクチン・治療薬の認証制度(治験・臨床試験等含む)、医療機器の輸入・調達・承認制度等)</p>			留 意 事 項	<p>【人月合計】(調整中) 約7.51人月</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00846000000	調達件名	全世界(広域)気候変動対策に貢献する都市計画マスタープランのあり方にかかる研究(プロジェクト研究)		
	公示日(予定)	2024年2月21日	担当部課	社会基盤部都市・地域開発グループ	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】調査・研究
	履行期間(予定)	2024年4月17日 ~ 2025年4月17日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】SDGsゴール11のターゲット11.1に示されるように、包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住の実現が求められている。また、パリ協定に基づき各国が温室効果ガス削減・抑制目標を定めており、今後開発が進められる開発途上国でも気候変動対策のニーズが増加している。</p> <p>中でも都市エリアは現在世界の7割以上の温室効果ガスを排出しているとされ、都市開発において、持続可能な都市、脱炭素・低炭素な都市を目指すことが求められる。</p> <p>かかる課題への対応に向けて、本プロジェクト研究では、気候変動を考慮した都市開発における、日本の貢献策、協力方針について検討を行う。</p> <p>【目的】本プロジェクト研究は、SDGsゴール11の達成にJICAが貢献するために必要な、特に気候変動・環境の面から持続可能な都市を供給・確保するためのJICAの都市開発分野における緩和(GHG削減)への貢献の定量化の方法の検討、課題の抽出、支援戦略を検討することを目的とする。</p> <p>【活動内容】</p> <p>(1) インセプション・レポートの作成</p> <p>(2) 日本を含む数か国について都市開発分野における気候変動対策の取り組み・知見について関係資料・情報の収集、整理、分析</p> <p>(3) JICA及び他ドナーの都市における気候変動対策の取り組みについて情報の収集、整理、分析</p> <p>(4) 現地調査を通じた都市における気候変動対策の取り組みについて情報収集および整理・分析</p> <p>(5) 都市開発における気候変動対策について定量的な分析方法(考え方、計算方法、ツール)の提案、今後の検討課題の特定</p> <p>(6) アプローチの提案(MP策定、政策立案、法・制度の整備、実施方法、評価・モニタリングの方法等)、ネットゼロを目指す上で主要排出源/セクターに対応した考えられる行動、アクションの抽出の検討</p> <p>(7) 報告書の作成</p>			留 意 事 項	<p>【業務従事者の専門分野】</p> <p>本案件では、都市・地域開発計画、気候変動対策に係る専門性を求める。</p> <p>【人月合計】約13.5人月</p> <p>【その他留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本プレ公示の内容は変更の可能性があります 	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00849000000	調達件名	全世界基礎研究「人材育成奨学計画(JDS)事業の効果検証」(プロジェクト研究)		
	公示日(予定)	2024年2月21日	担当部課	資金協力業務部実施監理第二課	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】調査・研究
	履行期間(予定)	2024年4月17日 ~ 2024年12月27日		選定方法	企画競争	
業 務 内 容	<p>【背景】 人材育成奨学計画(以下「JDS」という。)は創設から24年目となり、定性・定量両面での成果を示すことがJICA内外から求められている。JICAでは2019年度に基礎研究を実施しているが、今般4年が経過したことから、改めて有効性・インパクトに係る指標を確認し、定量的に最新の成果を示すとともに、JDS事業によるインパクトについても定性的に把握することで「二国間パートナーシップの強化への寄与」についても確認する。</p> <p>【目的】 ①JDS帰国留学生の追跡調査による政府機関における中核人材としての貢献度の定量的把握、②JDS事業が与えた大学への影響などのインパクトについての定性的評価、③既存国における有効な定量的効果指標の設定とそのデータ収集方法につき検討する。また、定量的評価における既存国の成果とその傾向の分析を踏まえ、今後の新規国選定の目安となる基準や既存国に対する有り得る出口戦略についても検証する。</p> <p>【活動内容】 以下内容について、国内文献調査をもとに国別の成果及びインパクトについて把握するとともに、各国の特徴や傾向を抽出する。その上で、成果に影響する要素・要因について仮説を立て、国内聞き取りや現地調査において検証する。</p> <p>(1) 国別の定量的・定性的効果検証</p> <p>①成果の定量的効果 ア) 実績 イ) 帰国留学生の状況(追跡調査)</p> <p>②インパクトの定性的効果 ア) 二国間友好協力関係への寄与 イ) 組織への裨益、貢献要因および阻害要因にかかる考察</p> <p>(2) 国別の成功要因比較分析</p> <p>①公務員人事・人材の概況 ア) 対象国政府(公務員人事担当機関、JDS担当機関)の人材育成計画の状況</p>			留 意 事 項	<p>イ) 政府人材の概況 ウ) 他ドナーの奨学金事業の実施状況およびJDSの比較優位分析</p> <p>②その他影響要因 ア) 応募者数、分野/所属先機関の継続性 イ) 選考プロセス ウ) JICA協力プログラム等との関連状況 (3) 分析結果および提言の取りまとめ</p> <p>【人月合計】 9.50人月(想定)</p> <p>【その他留意事項】 活動にあたっては、以下の点の確認について留意する。 ア) 候補者の選定状況(JICA研修で招聘すべき人物等ではなく、真に「当該国の指導者になることが期待される若手行政官」が選定されているか、選定過程における先方政府の協力状況・大使館の関与状況等) イ) 帰国後の活躍状況(留学後に就いた役職履歴、離職率、担当業務等) ウ) 帰国後の二国間関係への貢献度(大使館が継続的に関係を有しているか、日本との関係強化に協力的か等) エ) JDS帰国生ネットワークの活動・活用状況(先方政府の関与状況、大使館との関係等)</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00871000000	調達件名	アフリカ地域再エネ民間投資促進アドバイザー業務		
	公示日(予定)	2024年2月21日	担当部課	社会基盤部資源・エネルギーグループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力個別案件
	履行期間(予定)	2024年5月16日 ~ 2026年5月15日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>①【背景】 アフリカでは2030年時点でもなお約6億人が未電化状態にあると予測されている(世界銀行)。同時に気候変動への対応の必要性から、電力セクターにおいても化石燃料からの脱却が求められている。 気候変動への対応及び電力アクセス向上に向けて再生可能エネルギーを活用することが有効であるが、膨大な資金ニーズを埋めるためには民間投資の活用が不可欠である。 JICAは2020年から2021年にかけて「アフリカ地域における再生可能エネルギーの民間投資促進に係る情報収集・確認調査」を実施し、再生可能エネルギーの民間投資促進にあたってJICAの支援ニーズの高い国をスクリーニングのうえ、ナイジェリア、アンゴラ、ナミビア、ボツワナの4カ国から要請書を受領した。</p> <p>②【目的】 ナイジェリア、アンゴラ、ナミビア、ボツワナにおける電源開発の方針等につき整理のうえ、再生可能エネルギーの民間投資促進を支援することにより、各国におけるエネルギートランジション及び電力アクセスの向上に寄与する。</p> <p>③【業務概要】 日本をベースに、履行期間内に随時渡航し業務を進める。 (ナイジェリア/オフグリッドを対象とする) ・オフグリッド電化にあたっての実行計画の体系的な整理。 ・政府による既往のオフグリッド支援プログラムの評価。 ・民間投資促進に向けた関係機関の能力強化。 (アンゴラ、ナミビア、ボツワナ/系統型を対象とする) ・域内融通の可能性も見据えた中長期的な電源開発の方針の整理。 ・再エネ民間投資の促進に向けた、適切なガバナンス・組織体制の助言、入札制度等フレームワーク、系統運用等に関する助言。 ・民間投資促進に向けた関係機関の能力強化。</p>			留 意 事 項	<p>①【担当分野・評価対象者】 本調査では、再エネ民間投資を含む電源開発方針に係る専門性を求める。</p> <p>②【業務人月(想定)】 約35人月</p> <p>③【その他留意事項】 ・プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。 ・ナイジェリア、アンゴラの一部都市での宿泊においては、安全対策上の観点からJICA事務所が指定するホテルのみ宿泊可能です。そのため、宿泊料は各付の号に問わず、特別宿泊料単価が適用されます。詳細は、「コンサルタント等契約における経理処理ガイドライン」をご参照ください。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年1月17日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00561000000	調達件名	エチオピア国小規模灌漑開発アドバイザー業務		
	公示日(予定)	2024年3月6日	担当部課	経済開発部農業・農村開発第二グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力個別案件
	履行期間(予定)	2024年5月8日 ~ 2026年5月7日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 エチオピア連邦民主共和国に於いて、農業は労働人口の67%、GDPの37.6%を占める基幹産業であるが、エチオピアにおける農家の95%は、平均耕作面積1ha以下の小規模農家であり、その多くは天水に依存した生産を行っている。こうした中で、2018年時点のエチオピアに於ける小規模灌漑整備面積は、開発可能面積とされる約10百万haのうち、2.8百万ha(28%)に留まっている。灌漑の整備及び維持管理に関する戦略及びガイドラインは策定されているが、その実施のための能力強化が必要とされている。</p> <p>【目的】 エチオピア連邦政府および州政府の小規模灌漑の維持管理に関する計画策定、設計・施工監理、水利組合組織化の能力の向上。</p> <p>【活動内容】 以下の3つの成果発現のための活動を実施する。 1. 連邦農業省小規模灌漑開発局において、エチオピア全国の小規模灌漑の現状が把握され、優先順位を踏まえた上で、施設改修及び予算の計画が策定される。 2. 灌漑施設改修パイロットサイトでの現場研修を通じて、連邦農業省小規模灌漑開発局職員及び州政府灌漑担当職員の小規模灌漑施設の改修のための設計、施工監理能力が強化される。 3. 水利組合パイロットサイトでの現場研修を通じて、州農業局の郡配属職員による小規模灌漑施設利用者の水利組合の組織化、灌漑施設の維持管理実施促進能力が強化される。</p>			留 意 事 項	<p>【人月合計】 約16人月</p> <p>【その他留意事項】 ・プレ公示の内容は変更の可能性があります。</p>	